

報道関係者各位

2017年2月8日

沢井製薬株式会社

ユーシオン[®]-S 静注用 0.75g/1.5g/3g

- 効能・効果および用法・用量追加承認取得のお知らせ -

沢井製薬株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：澤井光郎）は、本日2月8日、ユーシオン[®]-S 静注用 0.75g/1.5g/3g につきまして、下記の通り、「効能・効果」および「用法・用量」の追加承認を取得致しましたことをお知らせ致します。

これにより先発品との適応不一致が解消され、先発品と同様に処方していただけるようになりました。

-記-

<p>効能・効果 (下線部分が追加項目)</p>	<p><対応菌種> 本剤に感性のブドウ球菌属、<u>肺炎球菌</u>、モラクセラ（ブランハメラ）・<u>カタラーリス</u>、<u>大腸菌</u>、プロテウス属、インフルエンザ菌</p> <p><適応症> 肺炎、肺膿瘍、膀胱炎、腹膜炎</p>
<p>用法・用量 (下線部分が追加項目)</p>	<p>「肺炎、肺膿瘍、腹膜炎の場合」 通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日6g（力価）を2回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。 <u>なお、重症感染症の場合は必要に応じて適宜増量することができるが、1回3g（力価）1日4回（1日量として12g（力価））を上限とする。</u></p> <p>「膀胱炎の場合」 通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日3g（力価）を2回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。</p> <p>通常小児にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日60～150mg（力価）/kgを3～4回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。</p> <p>静脈内注射に際しては、日局注射用水、日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に投与する。</p> <p>なお、点滴による静脈内投与に際しては、補液に溶解して用いる。</p>

◆お問い合わせ先◆

沢井製薬株式会社 戦略企画部 広報・IRグループ

TEL：06-6105-5718/E-mail：koho@sawai.co.jp